

ひよこぐみだより3月号

平成30年3月1日
社会福祉法人 尚徳福祉会
松が丘保育園

寒さに身体が縮むような日々が続いていますが、心と空を見上げれば、梅の木は花をつけ春の訪れを感じます。いよいよ3月です。子どもたちは“はじめまして”と出会った日からひとまわりもふたまわりも大きくなりました。次年度の入園前面談が始まっています。ひよこぐみにも4月に入園予定の自分たちよりも小さなお友だちが来園し、顔を合わせることが何度かありました。その度に、嬉しそうに側に駆け寄り「(お)はよー！」と声をかけてみたり、優しく頭をなでたりしていましたよ。気持ちもすっかりお兄さんとお姉さんなのですね。

園庭では幼児に混ざって遊ぶ姿が多く見られるようになりました。あちこちで、ごっこ遊びに参加しては自分らしくのびのびと楽しんでいる様子を何より嬉しく思います。

最後の一ヶ月、過ぎ行く日々をかみ締めながら朗らかに過ごしていきたいと思います。



今月の予定

- 2日(金)ひなまつり
- 8日(木)0歳児健診
- 10日(土)就学祝い会
おおきくなったねの会(幼児のみ)
- 12日(月)身体計測
- 22日(木)0歳児健診



保育室では…

“じぶんで”できるよ、やりたいよ

着替えの場面での話です。ズボンを履こうかと声をかけながら、膝に座らせようとするとうん！！と怒った声…ん？と顔を覗き込むと表情もプンプンと怒り顔。

ハッとしました。自分でやりたいのですね。対面に座りなおして、お子さんの前にズボンを置くと途端に「そうそう、これこれ」と言わんばかりのニコリ良い顔になりました。

また、別の場面では長いことズボンを履こうと頑張っているもののズボンが上手く扱えず困っているお子さんがいました。どうするのかなと見守っていた担任に手伝っての言葉のかわりに「ん！」とズボンを差し出してきました。難しかったね、一緒に履こうねと話しながら一緒に履くと機嫌よく遊びに向かっていきました。

やりたい…だけど手伝って欲しい、どちらも正直な気持ちですね。どうしようなんて言葉にはしきれないですが、心の中には様々な葛藤もあるのでしょうか。身体だけではなく、なんだか心も大きくなっているのだなあとしみじみ実感したひと時でした。



今月のねらい

- ・進級に向けて、1歳児保育室で過ごす時間を持つ
- ・衣服の着脱に興味を持ち、自分でしようとする
- ・保育者や友だちとやりとりしながら一緒に身体を動かして遊ぶ
- ・戸外遊びや散歩を楽しみ、春の自然に触れる

さようなら おげんきで



おねがい

- ◎爪の長さや状態を点検願います。角の鋭さや断面のがたつきは思わぬ怪我に繋がります。
- ◎進級に伴う移行が始まります。衣服の名前の薄れやサイズなどの状態をご確認ください。
- ◎衣服カゴの中に使っていない洋服などがありましたら、移行前にお持ち帰りください。